

【海外先進教育実践支援】

我が国の高等教育の国際的通用性・共通性の向上を図るため、大学等の教職員を海外の教育研究機関等に派遣し、教育能力の向上及び教育内容・方法等の改善を図る優れた取組を選定し財政支援を行うことで、高等教育改革を一層促進させることを目的とする。

(採択取組)

取組名称：「急性期医学シミュレーション教員団の養成」

(先進的プログラム開発能力の養成と急性期医療人獲得への取組)

取組概要：欧米の医学教育に比べ立ち遅れた急性期医学シミュレーション教育の飛躍的向上を目的とした先進的、包括的な教員団養成プログラムである。附属病院において急性期医学（救急・集中治療・麻酔）の診療に携わる教員は、本プログラムのシナリオ・コーディネーターとして登録し、欧米の先進的シミュレーション教育を研修し、帰国後は本邦の実情に適合した優れた取組を見学する。その後、本学の現況に即した急性期医学シミュレーション教育を稼働させるのみならず、新規シナリオの作成と他の教育研修施設との情報交換・共有を通じて、全国の医学シミュレーション教育の活性化に貢献することができる。さらには、卒前・卒後の急性期医学教育を充実させることにより、本県で不足している救急・集中治療・麻酔学をライフワークとして選択する若手医師が増加し、地域定着を促すことにより、地域医療にも好ましい波及効果を及ぼすことが期待できる。

取組担当者：田中誠 教授（人間総合科学研究科（医学））

財政支援の内容：1,000万円の範囲内で支援

補助対象期間：平成19年度（平成20年3月31日まで）限り